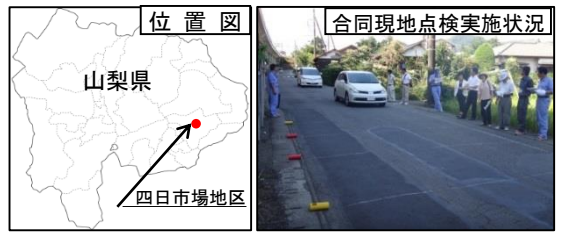


「生活道路対策エリア」の取組事例(つるよっかいちば 都留市四日市場の事例)

【ハンプ・減速路面標示
交差点内カラー舗装】

- 当該エリアは、都留IC方面より中央道の側道部を經由して国道139号へ向かう通過する交通が多い
- エリア全体で65%が30km/h以上で走行しているため、速度抑制対策を実施(ハンプの設置、減速路面標示)
- 急ブレーキが多い箇所は、ドライバーへの注意喚起(交差点内カラー舗装)を実施
- 対策区間において、30km/h超過割合が6%減少するなど速度抑制効果が発現

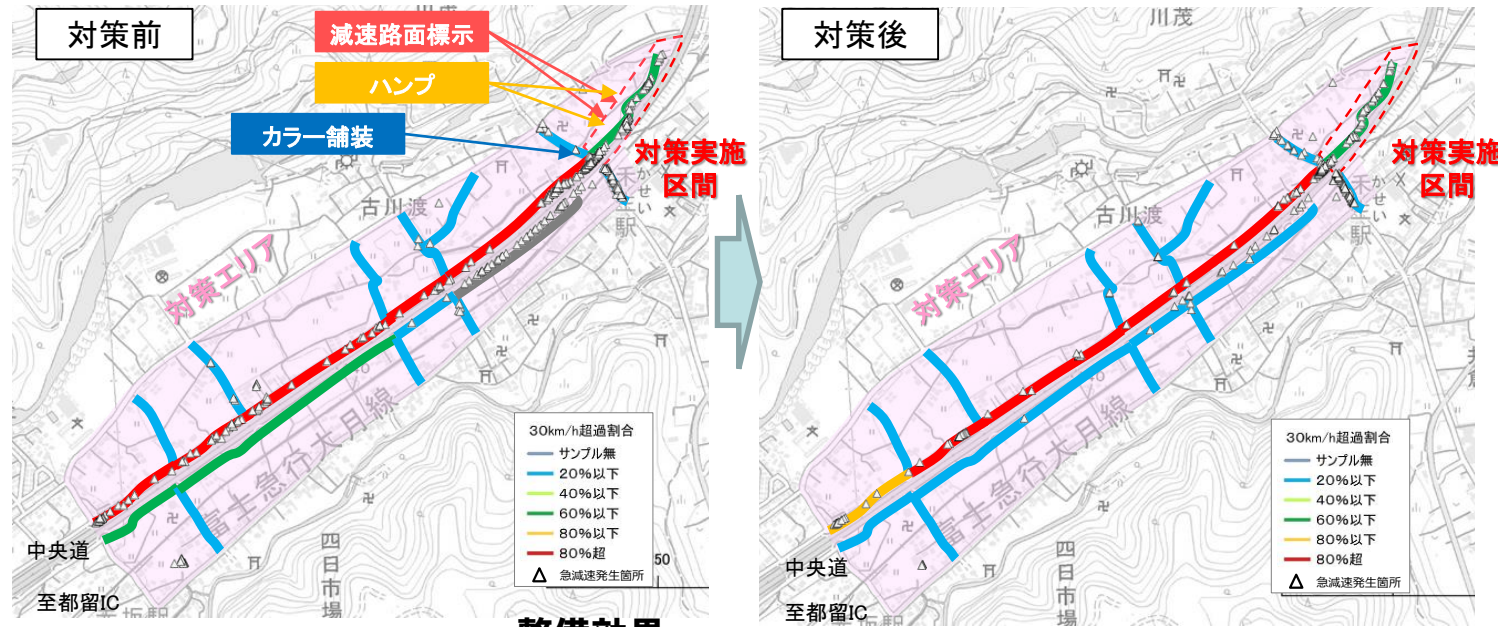
取組概要



○合同点検の実施
住民、学校関係者及び関係機関の協働で現地合同点検を実施し、対策を検討

H28.9 : 合同現地点検の実施
H29.6 : 合同現地点検の実施
(対策箇所、内容、時期の共有)
H29.10 : 対策工事(一部)完了

ビッグデータ分析結果



整備状況



整備効果

	30km/h超過割合		平均速度		急減速発生状況	
	エリア全体	対策実施区間	エリア全体	対策実施区間	回数(エリア全体)	発生トリップ割合(対策実施区間)
対策前	64.7%	51.7%	34.2km/h	30.5km/h	644回	3.0%
対策後	58.9%	45.6%	32.5km/h	29.0km/h	474回	2.2%

交差点内カラー舗装

減速路面標示設置

ハンプ設置

(▲5.9%) (▲6.1%) (▲1.7km/h) (▲1.5km/h) (▲170回) (▲0.8%)

【出典】1. 履歴点データ: ETC2.0フローブデータ
(30km/h超過割合) 【対策前】H29.5~9、【対策後】H29.11~H30.3
(急減速) 【対策前】データ期間を5か月と設定(データ件数21,227)
【対策後】対策前のデータ件数と同程度となるようデータ期間を設定(データ件数21,214件)
2. 背景地図: 国土地理院